

## 平成 30 年度第 3 回浦安市学校給食センター運営委員会議事録（議事要旨）

- 1 開催日時 平成 31 年 2 月 26 日（火） 午後 2 時～3 時 40 分
- 2 開催場所 浦安市健康センター 1 階 第一会議室
- 3 出席者（委員）  
鈴木会長、木次副会長、板井委員、野村委員、下村委員、田原委員  
栗原委員、大前委員、渡邊委員、百瀬委員、松尾委員、多田委員  
（事務局）  
岡部部長、本田次長、長島副参事、亀山主幹  
学校給食センター前田所長、岡本主査、新井主査、鈴木副主査  
宇都木栄養士、林田栄養士

### 4 議題

- (1) 平成 30 年度学校給食食材の放射性物質検査（11 月～1 月）について
- (2) 学校給食センターにおける食育の取り組みについて
- (3) 平成 31 年度浦安市学校給食センター事業計画（案）について
- (4) その他

### 5 議事の概要

会長及び教育総務部長挨拶並びに会議資料の確認後、議事次第に沿って事務局作成資料の説明及び質疑等を交えながら現状の把握や課題等についての意見交換が行われた。

#### (1) 平成 30 年度学校給食食材の放射性物質検査（11 月～1 月）について

（委員）

給食食材について、毎月 2 回の放射性物質検査を行っていることは理解するが、給食 1 食分をまるごと検査したことはあるのか。

（事務局）

千葉県教育委員会が文科省の委託を受け、平成 23 年度から平成 27 年度にわたって実施した「千葉県学校給食安心対策事業」に本市も参加し、小中学校に提供した学校給食をまるごと 1 食（1 週間 5 日間ずつ、計 3 週間分）について、放射性物質の有無や量を把握するため、事後検査を実施しました。

検査の結果については、放射性物質（セシウム 134 及び 137）は検出されていません。

なお、この「千葉県学校給食安心対策事業」は平成 27 年度をもって事業終了したことから、本市においても同様の対応としているところです。

（委員）

牛乳の放射性物質検査は行われているのか。

（事務局）

牛乳は県産原乳を使用しています。県産原乳については、千葉県において放射性物質モニタリング検査が行われています。

#### (2) 学校給食センターにおける食育の取り組みについて

（委員）

食育授業の効果を高めるため、子どもたちへのフィードバックの方法について。

(事務局)

授業時間に余裕がある場合は、後半部分で子どもたちから意見や感想を求めるようにしています。

(委員)

栄養士が学校へ出前授業として参画する取り組みは、大変好評です。

授業時間に制約があるものの、今後も子どもたちから感想等が聞けるような配慮していただければよいと思います。

(委員)

学校訪問の後は、子どもたちの意識も変わり、食べようとする意欲的な姿が見られるようになります。

(委員)

学校給食における地産地消の取り組みについて。

(事務局)

給食センターでは、千葉県で取れた新鮮でおいしい農産物等を食材として積極的に取り入れています。

また、1月には浦安商工会議所青年部の協力を得て、千葉県産の食材を使いご当地グルメとして進めている「浦安べか焼きそば」を給食に取り入れたところ です。

今後も、子どもたちの正しい食知識の向上と地産地消への理解と関心を深めるための献立作りに努めてまいります。

(委員)

給食の食べ残し量について、最近、教育現場でも少なくなっていることを感じている。

また、食べ残しについては年度替わりで（一斉入学、進級）により、必要摂取量も多くなることから、食べ残しの量が増えることの要因の一つとして考えられる。

### (3) 平成 31 年度浦安市学校給食センター事業計画（案）について

(委員)

アレルギー対応食について、小学校給食も中学校給食と同様に 7 品目のアレルゲンに対応することはできないのか。

(事務局)

現在、小学校給食でアレルギー対応食を提供している児童数は 79 名で、年々増加傾向にあります。

中学校給食と同様に多品目の除去食を提供することは、対象児童数の増加が見込まれる中、十分な安全性を確保しなければならないことから、アレルギー対応食の拡大は難しいものと考えています。

また、小学校給食 3 品目（卵、乳、卵・乳）とした経緯については、児童の食物アレルギーに関し実態を把握するため実施したアンケート調査により、現状の 3 品目としたものです。

(委員)

「えび」「かに」「落花生」等のアレルギーを持つ児童への対応は、どのようにしてい

るのか。

(事務局)

毎月、児童の保護者に給食で使用する食材を詳しく表示した「食品材料一覧表」を配布し、アレルギーの有無などをお知らせし対応しています。

(委員)

咀嚼に問題がある子どもたちへの対応について、一見普通に食べているように見えても実は丸のみ状態で、口を閉じられない子どもが増えている。

今後は、そのような子どもたちでも食べられるように咀嚼に合った給食を提供することも必要ではないのか。

(事務局)

咀嚼については、栄養士による学校訪問等の際に子どもたちに「よく噛んで」食べることの大切さを伝えています。

また、現在作成中の食育推進計画の中で咀嚼や嚥下機能について、他の事業との関連付けができないか検討していきたい。

(委員)

例えば、就学時検診などの際に咀嚼機能等に問題のある児童は分からないのか。

(委員)

実際、食事をしている状況を見ないと判断ができない。

他に質疑はなく、平成31年度浦安市学校給食センター事業計画(案)については、異議なく原案通りとした。

#### (4) その他

(事務局)

- ① 学校給食で提供している空き牛乳パックの回収及び処分方法については、現在乳業者が回収し、業者負担でリサイクル処理を行っています。

しかしながら、空き牛乳パックは一般廃棄物に分類されるので、県から一般廃棄物収集運搬許可業者ではない乳業者が牛乳パックを回収することについて指摘を受けたことから、本年4月より乳業者の回収を取りやめ、直接市が回収し、処分することとしました。以上で、本日の議題の協議はすべて終了した。

その後、定例での会議は、本日が任期最後の会議であるため、各委員よりこれまでの活動を振り返り、気づきや意見、感想などをいただいた。

先日、テレビ放映された1月24日及び25日と30日に小中学校で提供した「浦安べか焼きそば」の録画映像を視聴した。

以上で、平成30年度第3回浦安市学校給食センター運営委員会を閉会した。

問い合わせ先 教育総務部千鳥学校給食センター 担当：岡本 電話 047-382-2762